

2016年11月14日

札幌チャレラジオ通信 第44回

赤坂：三角山放送局をお聴きの皆さん、こんにちは。札幌チャレラジオ通信です。私はパーソナリティーのNPO法人札幌チャレンジの赤坂です。よろしくお願いします。札幌チャレラジオ通信は、『自立を目指す障がいのある人が、ITでマザル、ハタラク、拓き合う社会を創りたい』との思いで活動しているNPO法人札幌チャレンジが、毎週月曜日のこの時間に、札幌チャレンジの活動内容をお伝えする番組です。2016年の一年間放送します。今週は就労移行支援グループ職員の赤坂と、大山と、栄田が担当します。皆さん、よろしくお願いします。

大山・栄田：よろしくお願いします。

赤坂：今日で2回目のMCになるんですけど。前回緊張しすぎて声が暗かったのと、あと喋りすぎてたので。今日は明るく喋ることと、あまり喋らないということ。

大山：いや、喋ってください。

赤坂：大山さんと栄田さんにたくさん喋ってもらおうと思いますので、よろしくお願いします。

大山・栄田：よろしくお願いします。

赤坂：ということで、今日は女性3名で、お伝えしたいと思います。これまでさまざまなゲストをお招きして、札幌チャレンジの移行支援についてお話しをしてきましたが、今日はその女性職員3人でじっくりいきたいと思います。

栄田：はい。

赤坂：では、札幌チャレンジの今日はどんなことを話すかということなんですけど、札幌チャレの移行支援ってどんなとこなのかとか、どんな訓練をしているのかなどを、改めてご紹介したいと思います。まずは、その移行支援のグループ職員の自己紹介を順番にしていきたいと思いますので、まずは大山さんからお願いします。

大山：はい。就労移行支援グループのリーダーの大山です。2009年から、札幌チャレンジドの職員として働いています。職員の前は、ボランティアといいますか外部から来る講師みたいな感じで、パソコンを教える方の担当をさせていただいたりしてまして、2009年に職員になりました。自己紹介ということなんですが。

赤坂：お願いします。

大山：趣味ということで。なんか一般的ですね、すみません。趣味は、今はハーブを栽培することが一番楽しいかなということでしょうかね。なかなかやる時間もないんですけどね。ベランダでハーブを栽培して。

栄田：いいですね。

大山：摘んでその香りに癒されたり、そして摘んで料理やお茶に使ったりというのが。

栄田：いいですね。

赤坂：おしゃれですね。

大山：今後もそういうのは続けたいなと思っています。以上です。

赤坂：ありがとうございます。では続いて、栄田さんお願いします。

栄田：はい。2013年の4月から就労移行支援のスタッフになりました、栄田です。私は就労移行支援のスタッフになる前は、地元が札幌じゃないものでして、その地元でいわゆるOLをやっていたりして。事務職ですね。パソコンを使って働いていたんですけど、都会に憧れまして、田舎を出たいと思って、意を決して札幌に出てきたんですよ。そこで札幌チャレンジドに出会いまして、スタッフにならせていただいたということがあります。それでは、私の趣味も。前回、加納さんがお伝えしてくださってたんですけど、趣味はダンスをしておりまして。ダンスもいろいろとあるんですけど、私はヒップホップダンスというEXILEですとか踊っているようなことを。

大山：かっこいいですね。

赤坂：いいですね。

栄田：最近、体力がなくてゼーゼーなっているんですけどもしております。よろしくお願ひします。以上です。

大山・赤坂：よろしくお願ひします。

赤坂：では、赤坂なんですけども。赤坂かおりと申します。私は、昨年の3月からなりまして、まだ1年と半年ぐらいですかね。移行支援のスタッフの中では、一番の若手となっております。身の上話をする流れになっているんですけど。私、出身が礼文島って言って、北海道の北の方にある小さな島出身なんですよね。そこから高校進学を機に札幌に出てきて、それでなんやかんやしていたんですけども。ご縁があって札幌チャレンジドで働かせていただくことになりました。なので、栄田さんよりも田舎者だと思いますので、栄田さんの方がシティーガールだと思います。

栄田：シティーガール。

赤坂：私の趣味は、読書と映画鑑賞です。以上です。という3名でお送りしたいと思ひます。

では次に、今度はそれぞれ皆さん移行支援の訓練の中で、いろんなプログラムを担当していただいているんですけども、それぞれが担当しているものについて、紹介していただきたいと思ひます。ではまた、大山さんからお願ひします。

大山：はい。就労移行支援は、障害のある方の就職活動のお手伝いをするというか、就職のための訓練をしているところなんですけれども。私たちのところ定員10名で、メンバーさん10名で訓練をしているんですが、その方たちが初めて来た時とかに、オリエンテーションというのを行いまして。そこに来ている方たちが皆さん一緒にやっていくために、心をつなげてというか、皆さんその場に慣れていけるようにオリエンテーションがあるんですけども、そういうのを担当させていただいたり、あとは、テープ起こしですとか文章力アップ。就職活動のためにはやはり履歴書ですとか、自己PRを書けなければなりませんので、そういう文章力をつけるという講習ですとか。あと今は視覚障害の方が漢字の練習を一生懸命していますので、漢字の学習なども一緒に担当させていただいています。プログラムを作る時の外部講師の調整なども私の方でさせていただいています。以上です。

赤坂：ありがとうございます。栄田さんお願ひします。

栄田：はい。私は、主にビジネスマナー講習であったりですとか、ストレッチ&ウォーキング、笑顔のストレッチというものを担当させていただいています。

赤坂：はい。

大山：ストレッチ&ウォーキングって、どんなようなことをするのか、教えてもらってもいいですか？

栄田：はい。ストレッチ&ウォーキングは、そのまま字のごとくなんですけど、札幌市内をメンバーさんと一緒に歩きます。目的としましては体力づくりもあるんですけど、札幌市内を皆さんで歩いている時のコミュニケーションですとか、そういうものを身に付けていただきたくて、こういうことを行っていました。結構、雨の日がなぜか被ってしまうというところがありまして、なので雨の日には、笑顔のストレッチということで、そちらの講習もしております。

赤坂：笑顔のストレッチでは、どんなことを。ちょっと質問攻めで。笑顔のストレッチというのは何でしょうか。

栄田：笑顔のストレッチも字のごとくなんですけど、笑顔になることってやっぱり大切だと思うんですよね。それは面接を受ける時もそうですし、あとは日常からやっぱり笑顔でいることってとても大事だなというのを思っています。なので笑顔の大切さを皆さんに知っていただきたくて、この講習をしています。

赤坂：ありがとうございます。

大山：ありがとうございます。赤坂さんも教えてもらっていいですか。

赤坂：はい。赤坂は、主に JST といって職場対人技能トレーニングという働く上で必要なコミュニケーションのトレーニングという講習と、あとは一般常識クイズというものと、あとは余暇プログラムの映画鑑賞とかですね。グループワークは栄田さんと交代で担当させてもらっていますが、そういったものを担当しております。

大山：どちらかというパソコン講習以外にコミュニケーションをする、人と関わる講習が結構多いですね、私たちのところは。

赤坂：そうですね。私の担当している JST も、挨拶をすとか報連相をすとかっていうのを実際にみんなやってみて、ここをこうした方がいいんじゃない？とか、そこがいいねとかやってやったりすると、本当にコミュニケーションの訓練の場にもなっているなと思

ます。

大山：この前、うちの移行支援のパンフレットを作る時に、いくつぐらい講習の種類があるのかなと数えたんですよね。パソコン講習のワードとかエクセルとか、一つ一つ数えていくと50種類以上あるんですよ。

赤坂・栄田：おー。

栄田：すごいですね。

大山：どんどん増えていって。どんなプログラムだったらいいかなと、悩んだこともあったんですけども。ただパソコンの操作を伝えるとか、就職に必要な履歴書の書き方とかというだけではなくて、生きていく上というか、生活していく上でいろんなことが必要なので。自分の余暇を楽しく過ごすとかね。

栄田：そうですね。

大山：人と関わるとか、勉強するとかいろんな時間があるので、そういうのを見ていくと、いろんな講習が出来上がって。単発でやるものもありますよね。

栄田：そうですね。

大山：その時その時に来てくれてるメンバーさんの様子を見ながら、こんな講習が必要かなというのを作っていったところもありますよね。数えるとそんなにありますので。

赤坂：多いですね。

栄田：増えてきてますよね。

大山：またいろんなのが出てくるといいなと思っています。

赤坂：大山さんがおっしゃっていた通り、50種類以上ということで、私たちが今、ご紹介したのもほんの一部で、他にももちろんパソコンのワード、エクセル、パワーポイント、あとはHTML&CSSですね。ちょっと難しいものなんかもやっていますし、あとは就活ということで、事務局長の岡野さんにお手伝いいただいて、就活講座ということ。書類の書き方とか、面接は何で受けるのかとか、そういう根本的なところの講習もやってもらってますし、

ゲストにもお越しいただいた土井先生のコミュニケーションも担当していただいて、本当にたくさんのプログラムがあるということで。

栄田：そうですね。

赤坂：楽しいですね。

大山：いろんな方に関わってもらって、今、加納理事長にも社会科ということで、NPOの話をしてもらったりですとか、いろいろ教えてもらってますよね。

栄田：札チャレでないとなかなか聞けないようなお話とかも多いですね。

赤坂：私たちも結構耳大きくして聞いてたりとか。

栄田：そうですね、勉強になることがたくさんありますね。

赤坂：ありがとうございます。では、そろそろリクエスト曲の時間に行きたいと思いますが、今日は栄田さんにリクエスト曲をお願いしたので、栄田さん、リクエスト曲のご紹介をお願いします。

栄田：はい。今回、リクエスト曲を1曲かけさせていただきたいと思ひまして、アーティストがne-yoのBecause Of Youという曲を、今回リクエストさせていただきました。

赤坂：はい。そのリクエストした理由というか、エピソードは何かありますか？

栄田：そうですね、話したら多分1~2時間になっちゃうので短くお伝えしますと、この曲で、実は地元でいた時に20~30名でダンス仲間と一緒にあるイベントに出たんですよね。その時にこの曲で踊ったのが思い出で。なので今回リクエストをさせていただきました。

大山：すごいですね、かっこいいですね。

栄田：ありがとうございます。

赤坂：では、聴いていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

赤坂：3時からお送りしている、札幌チャレラジオ通信です。今日は就労移行支援グループ職員の赤坂と、大山と、栄田が担当します。皆さん後半も引き続きよろしくお願いします。

栄田・大山：よろしくお願いします。

赤坂：では、後半いきたいと思いますが、いきなり振りますけども、札幌チャレの移行支援の全体的な雰囲気といいますか、どんな感じかなというところを皆さんにお伝えしようかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

大山：そうですね。部屋自体が4つの部屋を10名の利用者さんで使っていて、結構ゆったりとした。

栄田：そうですね。

大山：新しく内装もちょうど。ここに来た時から何年？まだ2年か2年経ってない。

栄田：そうですね、まだ。

大山：なので新しいですね。机とか全体的に新しいですね。あとはメンバーさん同士がすごい仲良く。

赤坂：そうですね。

栄田：和気あいあいと本当にしていて。最初はやっぱりお互い知らない人同士なので、結構緊張といいますか、すごいよそよそしい感じにはなってるんですけど。時間が経ったらすごい仲良くなってますよね。笑い声が絶えないですね。

赤坂：そうですね。

大山：昼休みとかすごいですね。いろんなところで賑やかだから。

赤坂：札幌チャレの移行支援って、本当にいろんな障害の方が訓練しにきてる場所なんですけど、お互いがお互いに気遣う気持ちといいますか、それがすごく本当に自然に出てきてて。

栄田：そうですね。

赤坂：お互い様でもないですけど、本当に良い雰囲気で皆さん。

大山：そうですね、お互いに認め合って。最初に本当にオリエンテーションでも、自分の障害の事とかお話ししてもらおうとか。

栄田：そうですね。

大山：結構、最初皆さん緊張してたりとかあるんですけど。でも、それがあって良かったという声が結構ね。

栄田：そうですね。

大山：自分の障害を伝える。自分で自分の事を話せて良かったとか、他の方の事を知れて良かったとか、結構多くて。一日の振り返りを書いてもらっている日報があるんですけど、それにそういうコメントを書いてくれる方が結構多いんですよ。

栄田：多いですね。

大山：なのでそういうのもあって、じゃあ今度気をつけてあげようとか、思いやる気持ちがすごい出てきてるなと感じますよね。

赤坂：では、メンバーさんと職員との雰囲気はどうでしょうか。

大山：そうですね。どうですか、栄田さん。

栄田：そうですね。

大山：振っちゃった。

栄田：最初は支援者と利用者ということで、お互いにちょっとよそよそしいような感じではあるんですけど。徐々に信頼関係ができてきますと、色々とお話もしていただけますし、こちらはその方の為にどうサポートしていったらいいのかなということですか。ということでもう最近はなんか冗談を言い合いながらといいますか、結構いじられたりとかして。スタッフとメンバーさん同士でもすごい和気あいあいとしていますね。

赤坂・大山：そうですね。

赤坂：本当に私も一年半ぐらしかまだここにいないですけど、本当に札チャレのスタッフみんなそうだと思うんですけど、上からこう押し付けるとか、これしなさいみたいな感じじゃなくて、本当に同じ目線で一緒に頑張っていきましょうみたいな感じで、すごく距離が近いのがとても本当に良いんだなというふうに感じますね。

栄田：はい。

大山：移行支援のスタッフのところもそうですけど、スタッフルームみたいな感じで扉を閉めてるとかということはないので。パーテーションがあるくらいで、いつでも話しかけてもらえるような環境になってますしね。皆さんの様子も結構みんな楽しそうだなとか。

栄田：そうですね。

大山：そういう面でも、いつでも行き来できたりとかね。

赤坂：そうですね。

栄田：そういう教室づくりといいますか。

大山：そうですね。

赤坂：ありがとうございます。そんな雰囲気なんですけども、札チャレの移行支援のスタッフが大切にしている事がありまして。ここから説明口調になりますけども。去年の5月頃に持ち味カードというものを使って、私たちの行動指針ですね。これを大事にしていきたいということを決めたんですよ、スタッフで話し合いました。それが5つありまして。使命感、チームワーク、傾聴力、柔軟性、コミュニケーション、というのを私たちの持ち味として、行動指針としてやっていこうという事を決めましたが、それぞれについて一言ずつ説明をしていただきたいと思いますので、大山さんから順番によろしくお願いします。

大山：このまま読んでいいですか。

赤坂：はい、読んでいいです。

大山：実は、行動指針を決めたものがバンと貼られているんですけども。下に説明文がありまして、そのまま読ませていただきます。

赤坂：はい、お願いします。

大山：使命感。移行支援の支援員としての立場を理解し、その責任を全うすべく気概をもって行動し続けます。

栄田：チームワーク。円滑な業務遂行のために、常に協力していきます。

赤坂：傾聴力。移行メンバーの方々の話を受け入れながら聴き、何を求めているのかを適切に判断し、対応していきます。また、スタッフ同士の話し合いの場でもしっかり聴き、責任のある受け答えをしていきます。

大山：柔軟性。状況に合わせて、臨機応変に対応していきます。

栄田：では最後ですね。コミュニケーション。より良い支援をしていくために、なんでも相談し合える雰囲気作りを継続していきます。

赤坂：という5つが私たちの行動指針として、メンバーさんとかにも見える形で教室に貼ってあるので。これを大事に頑張っていこうという。

大山：そうですね。いつもここを忘れずにやっていけるといいなというですね。いろいろ困る時とかあるんですけど、心に持ちながらやっていくと上手くいくと思いますので。

赤坂：頑張りたいと思います。ということで、音楽が流れてきたんですけど、焦らずにですね。移行支援では、現在も就職を目指したいという障害のある方、メンバーさんを募集しております。話が聞きたいなという方は、電話でもメールでも構いませんので、連絡いただければと思います。連絡先は011-769-0843です。これぐらいで大丈夫。

大山：大丈夫です。

赤坂：ということで今日は、就労移行支援グループ職員の赤坂と、大山と、栄田でお送りしました。皆さん本当にありがとうございました。ではまた、来週お会いしましょう。さようなら。

栄田・大山：さようなら。